



近未来を見据える ～自己教育力が切り札～

新しい年が明けて未来に夢を馳せる節目の時ですが、年齢を重ねると、一年の早さには驚嘆するばかりです。特にコロナ禍の2年間で、社会に与えた変革のスピードに拍車をかけたのは間違いない。子供達に口癖のように[未来完了形]のスタンスに立って思考しろと、私自身よく言うが、未来を見据える時間軸の基準が早過ぎて、しかもその変化スピードの現実を目の当たりにする為、科学技術の進化に疲弊するときがあるくらいだ。コンピュータやロボットを初めとする技術革新の波は、我々の生活や社会を一変させた。2013年に発表され、騒然となったオックスフォード大学のマイケル・オズボーン准教授の『雇用の未来』も発表から七～八年経って、振り返ると現実の世界にその一端を垣間見ることができる。所謂コンピュータのAI化と自動化によって、20年後に47%の仕事が消滅すると言えば誰もが覚えているだろう。現に、中国では40%もの労働力の削減が自動化に拠る進行中の様で、数百人の組み立てラインを僅か数人で制御するメーカーも当たり前になりつつあるとか。無人化運転の研究が加速化する中、自動車産業も内燃機関で覇権を取ったメーカーも、脱炭素化の時流も背景に、様変わりの様相が伺える。イーロン・マスク率いるテスラがあっさりトヨタの時価総額を上回ると誰が想像しただろうか。馬車から自動車へと変遷する中で、馭者の仕事が無くなると同様に、自動化運転は、あらゆる職業ドライバーを一掃させる世界を想像するに難くはない。GAFAと称されるビッグデータを持つ巨大企業の存在は、増々揺ぎ無い所となりそう。国家としても、中国の様な意思決定スピードの早い政治システムが、国家レベルのビッグデータを駆使して功を奏する可能性だって有る。AIや機械が唯一出来ない分野に、人間は特化せざるを得ない近未来シナリオだが、頭脳はAIに、肉体はロボットに置き換わる中で、機械に無い唯一人間が持つ感情を磨く事で、対ヒトの仕事はパラダイムシフトしていくのが想像できる。正にAIやテクノロジーイノベーションの先鞭をつけたGAFAを牽引するリーダーの人物像が、今求められる時代に移行したのかも知れない。社会的洞察力、戦略的学習力、伝達力、指導力と行動力と鋭い感性。個人の内部に多様性を求め『何者か分からない』ぐらいに個人にタグが有る人程抜き出で、コンピュータやロボットとかけ離れた、かけがえのない存在になり得ると想像する。その為には特に、幼児期から義務教育時期の成長、発育時期が最大のチャンスだ。何事にも好奇心と情熱を持って興味を持った事を、徹底的にさせてあげたい。子供には誰から教わることなく歩こうとするチカラが有るように、元来自分を育てるチカラが潜んでいる。要は『自己教育力』を最大に引き出すことしか有りません。新年の今、是非想像できる近未来に行ってきて、そこにしっかりと立ってみて、現在を眺めて欲しい。一体、何が見えるのか。見えたなら、情熱を持って『今』に全力行動する年にしよう。

新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍での3年目となる年が明け、今年はこれまで見えなかった変化や、水面下に潜んだ問題が顕在化してくる年回りと言われています。コロナの変異株も、オミクロン型へと変化を続け、我々に不安を与えますが、コロナ禍で歪んだ産業構造からくる景気動向も気になります。昨年末にアメリカを襲った未曾有の竜巻のように、台風の大型化、異常熱波や寒波や洪水が世界各地で猛威を振るい、頻繁化する地球規模の気候変動も気になります。ウィルスにしろ異常気象にせよ、これら自然界からの警告を、人類は、これまでの歴史の繰り返す規模を超えて試されている気がします。地球から逃れられない以上、人類の今を紡ぐ歴史にも抗うことはできません。石の上にも3年。人類の智慧を結集し、未来が託され、その試金石として問われているのかも知れない。新たな希望と可能性を見出す、人類史上に残る画期的な年と祈願したいところです。



おしらせと今月の行事予定

◆油断大敵…コロナ対策の強化を!!◆

デルタ株が激減してコロナが沈静化したと錯覚せずに、オミクロン型の変異株が世界の主流になりつつある今、その全容が未だ明らかでは有りません。入試シーズンも本格的に開幕しましたので、これまで以上に検温チェック、うがい、手洗いの敢行と、マスクの着用を徹底させましょう!!

今月の予定

- 1月4日…年初授業開始
- 1/4～10日…冬期講習会
- 1月10日…中3全国テスト
- 1月29日…非受験学年全国テスト

◆冬期講習の参加者は、該当時間割りに従ってください。